

中国・アジア向け復調

奥谷金網製作所社長・奥谷智彦氏



①顧客先の生産計画中断で引き合いは2-3割減少している。先行きは楽観視はしていないが、現状はリーマン・ショック時よりはま

だましである。

②現在、金融支援策は活用していない。金融機関へは6月以降、資金調達が必要な時に緊急融資の活用を確約済み。休校で欠勤した社員のコロナ対策特別有給休暇制度は活用していく。

③4月売上高は前年同月比約2割減。ただ4月末から全工場がフル稼働だ。当面5月を乗り切れば社会インフラ需要は継続してでてくる。中国・アジアの顧客からの引き合いも復調している。
(神戸市中央区)

新型コロナ

緊急事態宣言延長

中小経営者の声 ㊦

新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言が延長される中、中国や欧米各国が外出や経済活動の制限緩和に動きだしている。日本でも政府が一部地域で宣言の早期解除に踏み切る可能性を示している。経済が疲弊する中、全国の中小企業経営者30人の声からは、世界的な制限緩和や経済の早期再開を歓迎する一方で、影響の長期化を身構える姿も見えて取れる。サプライチェーン（供給網）の見直しやオンライン化への対応など、コロナ後の構造変化を見据えた仕組みづくりが急務と言えそうだ。

【質問】

- ①緊急事態宣言延長の影響をどう見えていますか。
- ②2020年度補正予算が成立しました。政府への要望はありますか。
- ③中国や欧米での制限緩和の動きをどう見えていますか。